

製品名: TLE4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18980**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	TLE4
別名	TLE4; KIAA1261; Transducin-like enhancer protein 4
遺伝子 ID	7091.0
SwissProt ID	Q04727
免疫原	抗血清はヒト TLE4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

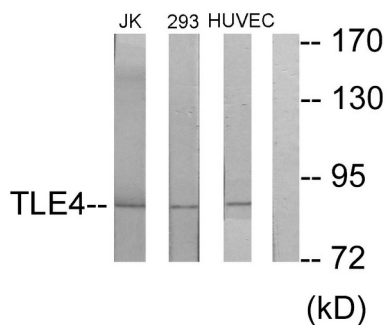
注意: 疑わしい CDS 予測の結果です。TLE4 の 3'UTR に存在します。相同遺伝子はありません。リン酸化ペプチド (PubMed:15302935) の大規模な同定には、さらなる確認が必要です。機能: 多数の転写因子に結合する転写コリプレッサーで

す。PAX5、および Wnt シグナル伝達における CTNNB1 および TCF ファミリーメンバーによる転写活性化を阻害します。全長 TLE ファミリーメンバーの効果は、優性負性 AES との関連によって調節される可能性があります。類似性: WD リピート Groucho/TLE ファミリーに属します。類似性: 7つの WD リピートを含みます。サブユニット: 他のファミリーメンバーとのホモオリゴマーおよびヘテロオリゴマー。PAX5、LEF1、TCF7、TCF7L1、および TCF7L2 に結合します。組織特異性: 調べたすべての組織、主に脳と筋肉に存在。注意: 疑わしい CDS 予測の産物です。TLE4 の 3'UTR に存在。相同遺伝子はありません。リン酸化ペプチド (PubMed:15302935) の大規模な同定には、さらなる確認が必要です。機能: 多数の転写因子に結合する転写コリプレッサーです。PAX5、および Wnt シグナル伝達における CTNNB1 および TCF ファミリーメンバーによる転写活性化を阻害します。全長 TLE ファミリーメンバーの効果は、優性負性 AES との関連によって調節される可能性があります。類似性: WD リピート Groucho/TLE ファミリーに属します。類似性: 7つの WD リピートを含みます。サブユニット: 他のファミリーメンバーとのホモオリゴマーおよびヘテロオリゴマー。PAX5、LEF1、TCF7、TCF7L1、TCF7L2 に結合します。組織特異性: 検査したすべての組織、主に脳と筋肉。

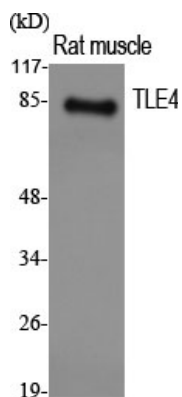
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; その他の因子; 幹細胞; シグナル伝達経路; Notch; 核; Wnt; 核; 補因子

画像データ



TLE4 抗体を用いた Jurkat 細胞、293 細胞、および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TLE4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。